

2019
10
 October Vol.43

JAしまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「西ノ島町 ニホンミツバチ」 隠岐どうせん地区本部



Naomichi



シマラ船 (精霊船) 送り
 隠岐郡 西ノ島町



島根には誇れる農産品がたっぷり！

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

西ノ島町 ニホンミツバチ

10月は、隠岐どうぜん地区本部。西ノ島町で、ニホンミツバチの飼育・採蜜に取り組む安達和良さんにお話を伺ってきました。

長年の夢だった養蜂
隠岐の西ノ島町で教員として勤めていた安達和良さんは、蜂蜜が好きで長年、蜂を飼いたいと考えていました。蜂蜜といえば、店頭に並んでいるほとんどの商品が西洋ミツバチのもので、安達さんも当初は西洋ミツバチを飼おうと思っていたのですが、勉強しているうちにやはりニホンミツバチの方が良いことに気づきました。西洋ミツバチは海外で家畜として改良された品種であり、病気や冬の寒さに弱く、スズメバチに襲われると負けてしまうなど、人の手を十分にかけやらないと生きていきません。一方、ニホンミツバチは元々日本にいた在来種な



お話を伺った安達和良さん。

ので、気候や風土に合っています。それに、スズメバチに襲われた際には、何十匹も固まって自らの熱を致死量まで上げて熱殺させ生き残ることができません。採れる蜜の量は少ないですが、育てやすさからニホンミツバチの方が適していると考え、まずは隠岐島中の生息調査から始めました。



ニホンミツバチ。西洋ミツバチより体が小さい。穏やかな性格なので、こちらが何かしない限り減多に刺さない。

ニホンミツバチの 復活プロジェクトを発足

生息調査を進めていくと、海士と知夫はすでに絶滅し、西ノ島と島後（隠岐の島）は残っていることがわかりました。その蜂を捕獲し、飼いはじめたのが約15年前。それから徐々に群れを増やすことができてきたようになったところで、「和蜂復活プロジェクト」を

立ち上げ、メンバーを募り飼育を広げていく活動を始めました。メンバーの住む、海士・知夫にも巣箱ごと移住させ育てもらうことで、3年後には隠岐諸島すべてでニホンミツバチの復活を確認することができました。プロジェクトは今年で6年目を迎え、メンバーも54名に増えました。県外からのインターン者が多く、蜂蜜を商品化して販売している人も数名います。



自作の巣箱。ミツバチが住みつけた巣箱を、プロジェクトメンバーにそのまま譲っている。

ニホンミツバチの 飼育方法

春になると、蜂はどんどん産卵して巣箱に1〜2万匹まで増えます。数が増えたと王台という特別な部屋に新しい女王蜂の卵を産み、孵化する前に古い母親女王蜂は群れの半分を連れ、子の女王蜂に巣箱を譲って出て行きます。そ



巣箱の中がいっぱいになると、外に出てくる。この場合に、もう一段継ぎ足す。



蜜がたくさん溜まった状態。巣箱に窓をつけて、中の様子が見えるように工夫されている。

ることが必要です。安達さんが現在飼育しているミツバチは20群。それぞれの巣箱にカメラを入れて撮影し、中の蜂の数や様子を確認しながら調節していきます。

蜂たちは、一番上の巣板に蜜を溜めていきます。これを1枚ずつ外し、バケツの上に乗せた、ざる、出汁濾しネルの上に置いて置くと、ポタポタと蜜が下に落ちていきます。気温や糖度により異なります。すべて落ちるのに約1週間かかります。こうして、蜂蜜が出来ます。

工夫された巣箱やグッズをすべて自分で作成

蜂を育てる上で、安達さんのいちばんの仕事は巣箱作り。自分で育てた木を切って持ち帰り、チェンソーで板にしてから作っています。その際、窓をつけて外からでも中の様子が見えるようにしたり、



様々な工夫を施しながら、巣箱をすべて自分で作成している。



3段積み重なった部分がスズメバチ防止柵。入り口は絶妙な幅で作られており、ニホンミツバチのみ出入りができる。

中を撮影するためのカメラを入れる扉を作ったり、夏の時期の通気を良くするためのスペースを開けたりと自分なりに創意工夫を凝らしながら、年々改良を重ねています。また、オオスズメバチのシーズンには集団で巣箱の入り口をかじって中に侵入してくるので、このためにスズメバチ防止柵を作成。絶妙な幅の出入り口はミツバチの出入りは可能ですが、オオスズメバチは入れないように工夫されています。

隠岐はミツバチの天国

ニホンミツバチは蜂蜜を作ることほもちろん、木々や野菜に花粉を運び受粉させることで植物の生長に役立っています。「どちらかといえば、採蜜よりはその方が大事」と語る安達さん。このまま絶滅しないように蜂を増やした状態を維持したいと考えています。ミツバチは、農薬にすぐく弱いので、田んぼや果樹園、



モクゲンジとキハダ。この他にも蜜源となる多種多様な植物をすべて自分で育てている。

ゴルフ場などの周辺では飼えません。隠岐地方でも多少被害が出ている場所もあります。が、今のところ本土に比べると圧倒的に少なく、ミツバチが住むには天国です。安達さんは「今後、可能であれば本土にも移住させてどんどん増やしていきたい」と、ニホンミツバチと共に新たな挑戦を続けています。



ダム近くの蜂場。

ニホンミツバチ 一口メモ

ニホンミツバチから採れる蜂蜜は西洋ミツバチの4分の1の量でごくわずか。しかも越冬のためだけに蜜を溜めるという性質上、1、2年に一度しか採蜜できないので、とても貴重な蜜です。味は、西洋ミツバチに比べて少し酸味があり、そして「百花蜜」と言われるように、四季折々の様々な種類の花の蜜が混ざるので、味わい深いのが特徴。糖度が79度あれば常温で永久保存できます。また、ミツロウとホホバオイルを混ぜたクリームは冬の乾燥する時期の保湿剤としても良く、あかぎれ予防やリップクリームにも適しています。



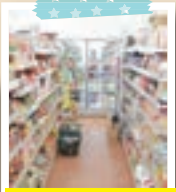
隠岐どうぜん地区本部 JAグリーンストア(西ノ島、知夫)



産直へようこそ!!

可成り産地が、地域の特産品「JAグリーンストア」は、島根県内の産直店舗を「紹介」します。

西ノ島 店舗



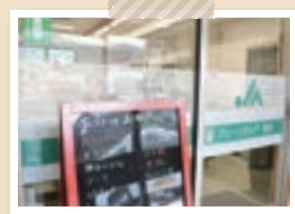
日用品も揃う店内はさながらスーパーのような品ぞろえ



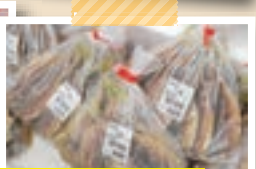
島育ちの農産物が所狭しと並ぶ

隠岐どうぜん地区本部が西ノ島と知夫で展開するJAグリーンストアは、島内で採れた農産物はもちろん、日用品や生活雑貨などを扱い、島内で暮らす人々の生活を支えている。産直に出荷される島内産の農産物は、本土から仕入れるものと比べて値段が手ごろで何よりも新鮮。そのほとんどが地元の方という来店者も、地元で採れた農産物を目当てに店を訪れる。産直では「作った人の顔が見える」と表現されることが多いが、グリーンストアはまさにその極地といえる。「この前のスイカおいしかったよ」「あら、よかったわ。これからのおすすめはね…」取材の最中も、出荷にきた生産者と買い物客の世間話が聞こえる。島という限られたコミュニティの中で、およそ日常生活に必要な物資が揃う同店舗は、周辺の人々にとって生活の拠点であると同時に情報

知夫 店舗



空っぽの棚は地元の人が足しげく通う証拠!



知夫で採れたハチミツや海産物も並ぶ

交流の場としても存在感を発揮する。西ノ島店舗には、取材当日も葉物類やブドウ、花など季節の農産物が並んでいた。生産者一人ひとりに出荷される農産物は、少量ながらも愛情を持って育てられた質の良いものばかり。「出荷することを、皆さんが楽しみながら長く続けてもらえたら」と、島内を巡る定期的な集荷は店舗の大切な業務となっている。知夫店舗の特徴は、何ととっても海産物を取り扱っているところ。漁業が盛んな知夫村だが小売りで鮮魚を扱う商店が無く、島の人々が鮮魚を購入する機会が限られていた。そこで村からの要請を受け、グリーンストアで海産物も販売することとなった。店内に並ぶ農産物・海産物は全て知夫村産であるため出荷量は少なく、陳列されるそばから次々と購入されていく。「朝は野菜も並んでたんだけどね。(何があるかは)一期一会です」と店舗を管理するJA知夫支店の角野支店長は笑う。島の人々の生活を支え、島で育ったモノを島の人々に提供する。まさに「島産島消」の産直が隠岐どうぜんにあった。

店名：JAグリーンストア
所在地：島根県隠岐郡西ノ島町美田2148-2
TEL：08514-7-8005
営業時間：9:00~18:00/土 9:00~12:00
定休日：日曜・祝日

店名：JAグリーンストア知夫
所在地：島根県隠岐郡知夫村1015-8
TEL：08514-8-2003
営業時間：9:00~18:00/土 9:00~12:00
定休日：日曜・祝日



JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

宇都宮汰さんは、青年就農給付金を活用して島根県立農林大学校で、果樹の生産に関わる技術や知識を習得された後、平成28年4月から就農されました。

現在、経営面積は65.5アールで、シャインマスカットを主軸にぶどうの生産をしておられます。ハウスはリースと斐川町内のぶどう生産者から受け継いだものを活用されています。受け継がれたハウスは、JAしまね農業振興支援事業の新規就農者の施設等整備支援を活用して補修を加えながら生産に努めていらっしゃいます。

宇都宮さんは、「JAに支援してもらって非常に助かっています。今後は計画的に経営面積を1ヘクタールまで拡大して産地の担い手としてがんばります」と話してくださいました。

宇都宮 汰さん



一所懸命 青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟は、平成28年に県内10番目の青年組織として設立しました。現在、盟友20名で活動を行っています。

8月には隠岐の島町にて、島根県JA青年大会（県内盟友が一堂に会し、個人・組織の発表を通じて、組織の活性化・自己啓発を図る大会）が開催され、JA島根県青協とともに大会運営を行いました。当日は県内より、総勢77名の参加者が隠岐島文化会館に集まり、「青年の主張」、「組織活動実績発表」の2部門に各青年組織から8名が出場しました。当青年連盟からは、柴功一委員長が「隠岐の島での就農」をテーマに青年の主張の部に出場しました。

なお、大会には、青年組織の未組織地区である、隠岐どうぜん地区本部の生産者、JA職員にも参加いただき、青年組織設立に向けた働きかけを行いました。

また、大会後には隠岐の島の食材を使用したバーベキュー交流会を開催し、県内盟友の交流を図りました。

今後は、盟友数の拡大を目指しながら、JAしまね隠岐青年連盟の活動を増やしていけるよう取り組みを行っていきます。



青年大会 開会式



青年大会 青年の主張（柴委員長）



交流会

雲南

敬老の日祝う デイイベント開催

ＪＡしまね雲南地区本部すずらん福祉センターデイサービスセンターは、9月12日から18日にかけて敬老の日・老人週間にちなんで「敬老会」を開きました。個人や団体が日替わりで芸を披露し、デイサービスやショートステイ利用者はいつもと違う雰囲気を楽しみました。

同センターが平成19年に開所してから10年近く続く恒例行事で、高齢者施設として重きを置いている行事の1つです。

最終日にはＪＡしまね雲南女性部大東支部の銭太鼓グループが「安来節」や演歌に合わせて銭太鼓と傘踊りを披露しました。利用者は軍歌「ラバウル小唄」など馴染みのある曲を口ずさむほか、手拍子を取るなど和やかな時間を過ごし「素晴らしい踊りが見られてよかった。元気で頑張ってほしい」と感謝の言葉を贈りました。



銭太鼓を披露する大東支部のメンバー

隠岐

地域の活動で野菜講習会を実施

健康長寿の維持を目的に、隠岐の島町原田地区の住民を中心として「中条はつらつサロン」という活動が月に1回実施されています。このサロンから9月の活動として野菜の栽培について勉強したいと隠岐地区本部経済部へ相談があり、9月17日に隠岐の島町原田地区の隠岐の島町社会福祉協議会を会場に野菜栽培講習会を開催し、経済部の職員1名が講師として出かけました。

講習会では農業を使わない野菜の害虫防除方法や、近傍に栽培することで互いの成長により影響を与え共栄しようとする2種以上の植物の組み合わせを行うコンパニオンプランツを中心に講習を行いました。また、参加された皆さんの大半が家庭菜園をされていたこともあり、除草剤の効く仕組みなどについても説明しましたが、熱心に聞いていただきました。

ＪＡでは今後も地域貢献活動として、地域の方と共に様々な行事やイベントに積極的に関わって行きたいと考えています。



くにびき

農業の魅力を体感！ 城北小学校児童がジャガイモ植え付け体験

くにびき地区本部は9月17日、城北小学校2年生と城北公民館が実施している「じゃがいも大作戦」に、講師として営農指導課の職員2名が参加しました。

「じゃがいも大作戦」は、地域のボランティアの方をジャガイモについての「名人」と称し、食農教育を通して、地域との交流を深めることを目的に2005年から実施。栽培指導を務める当地区本部の営農指導員は、名人よりも上の「大名人」として参加しています。

当日は、2年生の児童90名や名人32名などが集まり、自己紹介などをした後、植え付けを実施。児童たちは、名人に教わりながらプランターに土を入れ、「ニシユタカ」の種芋を丁寧に植え付けていきました。

参加した小林篤人さん(7)は植え付け後、「大きくて美味しく成長するように願いながら植えた。12月の収穫が楽しみ」と笑顔で話しました。

今後は日々の管理、名人と一緒にを行う「観察会」、12月の収穫を経て、1月には収穫祭を開催する予定です。



植え方について説明する営農指導員

やすぎ

安来市長へ梨を贈呈しPR

やすぎ梨生産部会は8月23日、安来梨選果場で「二十世紀梨」の選果をスタートしました。それに合わせ同日、岩田繁樹部会長と吉村英昭副部会長、ＪＡ担当者の3名が安来市役所を訪れ、安来市の近藤宏樹市長へ「二十世紀梨」を贈呈しました。

今年の安来産「二十世紀梨」は、天候に恵まれ玉太りも良く最高の出来に仕上がりに、岩田部会長は「近藤市長に食べていただきたく、最高品質の梨を持ってきました」と5箱2ケースを贈りました。早速贈られた梨を食べた市長は「甘くてみずみずしく、大変おいしい」と絶賛しました。

また、今年度の出荷計画や市内の梨農家が減少している厳しい現状などについて報告し、市長は「安来の特産である梨をなくさないためにも、行政として農業振興に協力していきたい」と話しました。贈呈式当日は、地元テレビや

新聞記者が取材に訪れ、岩田部会長は「おいしい安来の梨をぜひ皆様に食べていただきたい」と安来の梨をPRしました。



斐川 農家の健康を守る

斐川地区本部とJA島根厚生連は、8月27日から30日にかけて同地区本部出東支店で「組合員健康診断」と、今年から新設した「農業者・女性部検診」を開き、165人の方が受診しました。JAグループの助成で7,000円（39歳以下は6,000円）で受診できる「農業者・女性部検診」は、JA女性部の組合員らを対象に健康管理の一環として実施され、がんの早期発見に有効な胸部CT検査（40歳以上）や骨粗しょう症を発見する手掛かりになる骨密度測定など、男性28項目、女性27項目を検査しました。受診した女性の一人は「胸部CTを初めて受診できて良かった。スタッフの対応が良く、安心して受診できました」と話しました。厚生連検診普及部の桑原俊樹さんは「おおむね好評だったが改善点も見つかったので、次回はより良い健診にしたい」と意気込みを語りました。



隠岐 どうぜん 地区本部 第1期女子講座の修了式

西ノ島支店で8月24日、第5回目となる女子講座を開催しました。教育文化活動の一環で当地区本部初の試みとなる催し物を“女子講座”と銘打って、女性限定の公開講座として手探りで実施してきました。昨年9月の防災講座を皮切りに、12月のしめ縄作り、年が変わって2月のヨガ&アロマ、令和となって5月の隠岐の島町めぐり、そして今回のポーセラーツ作りと、計5回の講座を無事に終えることとなりました。第5回目となる修了講座は「E用品で形として残るものの作成が良いのでは」との考えから、カップと受皿の陶器づくりを命題に掲げての講座となりました。家の光協会島根県講師の影山和美氏を先生にお招きして、和気あいあいのポーセラーツ作りとなりました。「ポーセラーツ」とは、真っ白な陶器に好みの色や模様を転写紙を貼って専用の電気炉で焼き、オリジナルの陶器を作り上げることです。作業の最初は賑やかでしたが、だんだんと気持ちが入り込み、予定した時間内に終わらないのではないかと心配するくらい丁寧に作りました。「焼き上がりが楽しみだね」とマイカップを掲げての記念写真となり、第1期の女子講座を修了しました。第2期目は、この経験をもとにより良いものとなるよう頑張りたいと思います。



石見銀山 「ベビーマッサージレッスン」を開催

JAしまね石見銀山地区本部は9月7日、12日の2日間、地区本部で「ベビーマッサージレッスン」を開催しました。当地区本部のJA共済子ども倶楽部に参加する母親と1歳までの赤ちゃん26組が参加しました。

JAしまね石見銀山女性部フレッシュミズ部会「つばみくらぶ」の小谷理恵さんが講師として指導にあたり、赤ちゃんに優しく歌いかけながらマッサージをし、ふれあいの時間を楽しみました。

参加者は「母も子もリラックスしてふれあうことができた。JAでベビーマッサージを学ぶことができうれしい」「子ども倶楽部は様々な特典がある。これからも子育てに必要な情報をもらいたい」と話しました。



ベビーマッサージをする参加者

出雲 日本ワインコンクール金賞受賞 株式会社島根ワイナリー

7月に山梨県で開かれた「日本ワインコンクール2019」の甲州部門で、株式会社島根ワイナリーの「島根わいん縁結甲州2018」が県内初となる金賞（部門最高賞）を受賞しました。9月13日に同社の新藤正人社長らが長岡秀人出雲市長に受賞を報告し、受賞ワインを贈りました。

コンクールは、国産原料ブドウを使用した日本ワインの品質と認知度の向上などを目的に開催し、今年で17回目。12部門に、全国107のワイナリーが788点を出品しました。同社は別の部門でも銀賞を1銘柄と銅賞を2銘柄が受賞しています。

また、7月に東京都で開かれた「日本で飲む最高のワイン2019」でも、白ワインの甘口部門で「早摘みデラウェア2018」が最高賞のプラチナメダルを獲得するなど合わせて5銘柄が受賞しました。

新藤社長は「技術向上の成果が表れたこと、出雲のブドウが高く評価されたものだと思う。農家の皆さんにも励みになれば嬉しい」と話しました。



新藤社長（右）が長岡市長にワインを贈呈

西いわみ

J A高津支店まつりを開催

J Aしまね西いわみ地区本部高津支店(支店長松本慎司)は地元の神社に伝わる秋祭り「八朔祭」の日である9月1日にあわせ、支店まつりを開きました。

地域の行事に合わせた地域貢献をと考えイベントを開いたものです。

輪投げやお米のすくい取りなどを用意した会場では、来場者へJ A支店独自のアンケートも行ないました。

アンケートの内容は今後の支店運営に反映させる考えです。このほか、ゾウをモチーフにしたJ Aバンクのキャラクター「よりぞう」も登場し、じゃんけん大会などでイベントを盛り上げました。

「八朔祭」は柿本人麻呂の誕生日、陰暦の8月1日を祝って催される豊作祈願の祭りで、にぎやかな祭りとして古くから続いています。

同支店の松本支店長は「祭りと同様、地域に愛される支店にしていきたい」と話しました。



島根 おおち

菌床しいたけ食育授業

島根おおち菌床しいたけ生産組合は9月24日、地元の小学生に菌床しいたけについて学んでもらうための食育活動を行いました。この食育活動は生産組合の年間活動計画として毎年行っており、今年は瑞穂地区市木小学校の3・4年生を対象に開催しました。

授業では、生産組合組合長の上田文雄さんが、椎茸がどのようにしてできるのか、椎茸の栄養素や食べることによる効果のほか、山に生えている危険なきのことについても説明されました。また、管内でたくさんの菌床しいたけが栽培されていることや菌床ブロック作りから椎茸ができるまでの流れについて話され、生徒は熱心に聞いていました。授業の後は、菌床ブロックから生えた椎茸をその場で収穫し、採れたての椎茸を焼いて美味しく食べることができました。

島根おおち菌床しいたけ生産組合では、この活動を継続していくことで多くの子供達に菌床しいたけを知ってもらい、将来的な担い手確保に繋がればと期待しています。



本店

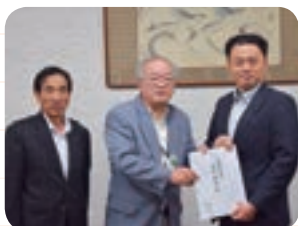
県へ要望書提出 島根農業の更なる振興を

J AしまねとJ A島根中央会、島根県農政会議は9月5日、県庁で「令和2年度島根県農業政策および予算に関する要望書」を、丸山達也知事に手渡しました。特別要望・重点要望・部門別要望の計23項目を要請。県農業産出額目標730億円早期達成に向けた産地化支援や、担い手の確保・育成に向けた対策などを求めました。

当日は石川寿樹組合長と同農政会議の石倉茂美会長が訪問。特別要望では、田での園芸品目の産地化支援として、園芸用リースハウスの設置、機械化体系確立の支援強化、国庫事業の活用支援や県予算の拡充など一層の産地化支援を要望しました。

石川組合長は「6月に県と包括連携協定を締結した。J Aも第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画で販売高40億円アップを掲げている。県の農業産出額100億円アップ達成に向け力を入れて取り組んでいく」と話し、要望への協力を求めました。

丸山知事からは「農業振興に向けてJ Aと県が緻密に連携していく必要がある。共に協力し、スピーディーに取り組んでいきたい」とお応えいただきました。



丸山知事(右)へ要望書を手渡す
石川組合長(中)と石倉会長

いわみ 中央

新しい仲間づくりを！ 「第1回きてみちゃんさい」開催

いわみ中央女性部(徳田マスエ部長)は9月2日、「第1回きてみちゃんさい」を開催しました。

「きてみちゃんさい」とは、いろいろな研修会を企画・運営し、研修会を通して新しい仲間作りの場を提供するもので、いわみ中央女性部の新しい試みとして取り組みを始めました。

第1回目として、『葬祭マナー研修会』を行いました。37名の参加者は、ご臨終からご葬儀までの流れや、参列の際のマナーについて、葬祭センター職員による講義を熱心に聞き入っていました。その後、レクリエーションで体を動かし、歌あり、笑いありと親睦を深めながら楽しい時間を過ごしました。

第2回は2月に計画しています。1人でも多くの方にJ A女性部の活動を知っていただき、女性部加入のきっかけを作りたいと思います。



タテのカギ

- ①ピーヒャララと吹きます
- ③ご指導ご—のほどよろしく
お願いします
- ⑥車を運転するのはドライ
バー、バイクの場合は
- ⑧日本人の主食です
- ⑨ピサの斜塔がある国
- ⑪穂が美しい野草
- ⑬大きく立派な家のこと
- ⑮彼は上司にも—置かれる存
在だ
- ⑰生兵法は大—のもと
- ⑱果物のこと。和食のコースで
デザートをこう呼ぶことも
- ⑲映画や小説の大まかな内容の
こと
- ⑲富有、次郎などの品種があり
ます

ヨコのカギ

- ①ボジョレー・ヌーボーを輸出
する国
- ②沖縄の海にいるマンタもこの
仲間
- ③アルファとガンマの間です
- ④一つのコンセントに多くの機
器をつなぐ—配線
- ⑤マニキュアを塗る物
- ⑦とても良いとされるおみくじ
の運勢
- ⑩不要な部分を省いて描きます
- ⑫灰皿にたまる物
- ⑭結婚式を行うこと
- ⑯カエデの別名です
- ⑰化粧品や乳液でスキン—を
した
- ⑲絵を描く職業の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

1	6		11		17	20
2			12	15		
	7	9				
3				16	18	
		10	13			
4	8				19	21
5			14			

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

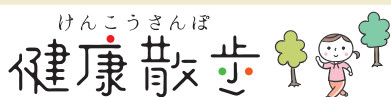
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年11月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ジヤガイモ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



10月15日はきのこの日

JA島根厚生連

ご存知でしたか？10月15日は「きのこの日」といわれています。1995年に、きのこの調理方法や有用性、消費拡大や生産振興を図るため、日本特用林産振興会によって制定されました。10月はきのこのスーパーなどに多く出回る時期であり、きのこの狩りや食卓など、身近に感じる時期でもあります。今回はたくさんのおいしいきのこの効果についてご紹介します。

○代謝促進・高血圧予防

きのこには、ビタミンB1・B2が豊富に含まれています。ビタミンBはエネルギー代謝を助ける働きがあり、さらにビタミンB群の中のナイアシンという物質は、血流を改善する効果もあるため血圧を安定させ、高血圧の防止に役立ちます。

○便秘改善・コレステロールを下げる

きのこには食物繊維が多く含まれており、便秘を良くする効果があります。また、コレステロールは腸内で吸収されますが、食物繊維にはこの吸収を抑え、体の外に排出する作用もあります。さらに、きのこは低カロリーであるため、摂取カロリーを抑えたい方にもおすすめできる食材です。

○抗がん作用

きのこに含まれるβグルカン、体内のがん細胞や感染細胞を攻撃したり、免疫力や抵抗力を高めたりする作用があるといわれています。

また、βグルカン的一种であるレンチナンという成分は特にしいたけに含まれており、レンチナンを摂取するとがん細胞が縮小することが実験で分かっています。レンチナンは採取時から7日後には約20%少なくなるため、出来るだけ新鮮なしいたけを食べると良いでしょう。

○骨粗鬆症の予防

カルシウム代謝に重要なビタミンDが含まれており、骨を丈夫にする効果が期待できます。

きのこを調理する際、マッシュルームやなめこは洗ったほうが良いといわれていますが、その他のきのこはあまり水洗いしなくても大丈夫といわれています。きのこには水溶性の栄養も含まれるため、水洗いすると水分を吸って食感が落ちてしまったり、栄養素や風味が逃げてしまう可能性があります。どうしても気になる方は、ぬらしたキッチンペーパーなどで拭いたり、ボールに水を張って軽く振り洗いすると良いでしょう。

また、きのこは長時間加熱することで、栄養素が失われてしまう可能性があります。炒め物はきのこを最後にいれるなど、加熱時間を短くすると良いでしょう。

秋が旬のきのこを、普段の食卓に取り入れてみてはいかがでしょうか。

きのこ





特産の栗出荷始まる

津和野町で9月4日、令和元年産栗の出荷が始まりました。JAしまね西いわみ栗生産協議会（会長斎藤尚介）会員4名が、同町森村のJA津和野経済センター集荷場に早生栗約27kgを出荷しました。

津和野町、吉賀町の各産地で収穫した早生品種「丹沢」を中心とした栗を規格、サイズ別に選別し、500gずつネットに入れたあと、10kg単位で箱詰めして、県内市場に送りました。

JA営農担当者によると県内の約7割を占める西いわみ産栗の出荷最盛期を9月下旬頃と見込んでおり、期間は10月中旬までを予定しています。

着穂数は昨年より多く、病害虫被害は少ないものの、梅雨明け後の猛暑と少雨の影響で玉太りは小玉傾向だとの事です。

同協議会では京都市場や県内市場向け、契約先向けや直接販売を含めた総出荷数量9トンを目指します。



秋作トマト出荷協議会と春作反省会開催



県内出荷量の8割を占める益田産トマトを手掛けるJAしまね益田トマト部会（部会長澁谷陽平）は9月10日、駅前町JA本店で令和元年秋作トマトの出荷協議会を開き、規格や日程等を確認、決定しました。協議会には部会員のほかJA、関係機関や市場関係者らが出席し、出荷時のトマトの色や形の目合わせも行いました。

9月6日から始めた秋作の出荷は12月下旬までを計画しており、総出荷数量約240トン、販売金額9,000万円を目指します。

出荷のピークを10月と見込み、広島市場を中心に県内各市場等に送りだします。

澁谷部会長は、生産者が7月上旬から定植を始めた秋作の栽培管理が天候に左右され、9月の出荷を迎えるまで苦労したことを挙げ「会員の皆さんには体調に気を付けて目標達成に向けてがんばろう」と呼びかけました。

春作の出荷反省会では、実績として4月17日から7月19日まで出荷した春作の総出荷数量は前年対比105%となる380トン、販売金額は前年対比91%となる8,905万円となったことが報告されました。





まちむらネットワーク

津和野SL 田んぼアート稲刈り

J Aしまね西いわみ地区本部津和野支店（支店長芝田剛）は9月14日、津和野町でSLを描いた田んぼアートの稲刈りを行いました。

J Aしまね地区本部理事青木和憲氏が所有する同町中座の水田15アールにうるち米「つや姫」を使って同町と新山口駅間を運行するSL「やまぐち号」を5月20日に描いたもので、SLの車窓からも確認できるといいます。

田んぼアートは平成25年7月に同町を襲った豪雨被害からの早期復旧を願って翌年から始めたものです。

当日は、J A津和野支店職員や同町にある県立津和野高校生徒、関係者ら12名が一緒に頑張って黄金色に輝く稲を刈り取りました。

刈り取った米は精米し、同校生徒らが通う町営英語塾「HAN-KOH」に無償提供するほか、年末のSL運行時に合わせて乗客にふるまう予定です。

J A津和野支店では、津和野町の復興の祈念として今後も続けていく考えです。



第2回西部地区種畜共進会開催

西部地区畜産振興協議会（会長佐々木豊）は8月31日、益田市遠田町の西部家畜市場で第2回となる種畜共進会を開きました。

J Aしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）とJ Aいわみ中央地区本部（本部長佐々木豊）が平成30年度に合同で設立した西部地区畜産振興協議会が主催するものです。当日は、両地区本部管内から月齢12か月から19か月の黒毛和種の繁殖雌牛20頭が出品され、特選賞4頭、優秀賞5頭を決定し表彰しました。

特選賞首席には、体の伸びと深さ、張りの良さが評価された浜田市の佐々木祥二さん出品牛「ちよこ30」号が選ばれました。

優秀賞首席には、益田市の株田原牧場の出品牛「ひさまゆみ5」号が選ばれました。特選賞を受賞した4頭は10月19日に開かれる島根県種畜共進会に出品され上位入賞を狙います。

講評では、審査委員長の西部農林振興センター川本家畜保健衛生部長岡崎尚之氏が「全体的にボリューム感があり、体の深みに優れた良い牛であった」と評し、「これからの繁殖牛として日々の管理をがんばってほしい」と激励しました。

- 特選賞二席から四席の受賞者は次のとおり
- 二席 益田市 佐々木恵美 「しげふく6」号
- 三席 津和野町 広兼 「はなゆり」号
- 四席 益田市 (株田原牧場) 「こなみ3」号



首席(株田原牧場)「ひさまゆみ5」号

二席(佐々木恵美)「しげふく6」号

三席(広兼)「はなゆり」号

四席(株田原牧場)「こなみ3」号



益田アムスメロン出荷反省会開催

県内生産の7割以上を占める益田市特産のアムスメロンを手掛けるJAしまね益田メロン部会（部会長大場尚俊）は9月6日、益田市幸町で令和元年産益田アムスメロンの出荷反省会を開き、情勢や取扱い実績報告、次年度に向けた課題や取組みなどを協議しました。

5月27日から7月1日にかけて出荷された令和元年産益田アムスメロンの実績は75,096ケース（約375トン）（前年対比97%）、販売金額20,547万円（同103%）となりました。

大場部会長はあいさつで「今年産は市場、贈答出荷分ともクレームがほとんど無かったと聞きうれしい」と喜び「当地ではアムスメロンの栽培が始まってもうすぐ50年を迎える。



今後の部会の将来像を見据えた産地ビジョンの設定を準備中だ」とあいさつしました。

同部会やJAでは、アムスメロンは島根県の特産品として知名度はもちろんニーズも高いとして、今後も品質、食味重視の栽培を念頭に置き、生産基盤の維持拡大や新規栽培者の確保などで面積確保をしていきたい考えです。

産直市感謝祭で夏野菜カレーを提供



JAしまね西いわみ農産物直売コーナー出荷者協議会（会長大畑秀人）は8月10日、益田市あけぼの西町のAコープますだ中央店で感謝祭を開きました。

地元産食材の良さを味わってもらおうと企画したもので、当日はナスやトマト、カボチャやピーマンなどの夏野菜をふんだんに使ったカレーを100食分用意し、来店者らに無料提供しました。

同協議会では「自分たちで作った農産物を自分たちの手で直接消費者に渡す」をモットーに活動していて、市内Aコープ店舗産直コーナーに出荷しています。

各支店で秋播き野菜講習会を開催

JAしまね西いわみ地区本部では管内各支店を会場に秋蒔き野菜の栽培講習会を開催しました。

JA支店や女性組織が主催となり、7月から8月にかけて益田市、津和野町、吉賀町の支店や集会所などを会場に開催しました。

講師に益田市で種苗会社を営む株式会社山陰種苗大畑整社長を迎え、秋植えして深秋から初冬、翌春に収穫可能な野菜の土づくりや施肥のタイミング、仕立ての方法や野菜の選定などを教わりました。

8月1日には、津和野町のJA津和野経済センターでキャベツやレタス、ホウレンソウなどの葉物やタマネギやカブ、大根などの根菜の栽培方法を教わりました。





まちむらネットワーク

カーブミラーを寄贈しました

J A 共済では、秋の交通安全運動期間にあわせ交通事故防止に役立ててもらおうと、益田市、津和野町、吉賀町にカーブミラーを寄贈しました。

J A 共済事業の地域貢献活動の一環として島根県では昭和47年から毎年実施しています。

9月17日に吉賀町岩本町長、20日に益田市山本市長、26日に津和野町下森町長を訪ね、J A しまね地区本部田村本部長、中島理事、竹長統括部長が「交通安全に役立てて下さい」と目録と趣意書を手渡しました。

吉賀町岩本町長



津和野町下森町長



益田市山本市長



交通安全をドライバーに呼びかけました



J A しまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は9月26日と30日の両日、益田市下本郷町と津和野町日原道の駅で、秋の交通安全運動期間にあわせ国道を通行するドライバーに安全運転を呼びかける交通安全検問に参加しました。

益田市や津和野町の交通安全団体関係者、地元保育園児らがドライバーにチラシやメッセージカードなどを配り交通安全を訴えました。

津和野町、吉賀町農政会議講演会開く

津和野町農政会議（会長京村真光）と吉賀町農政会議（会長齋藤一栄）は8月26日、津和野町鷺原の道の駅津和野温泉なごみの里でそれぞれ平成30年度の通常総会を開いた後、合同で講演会を催しました。

来賓に津和野町議会沖田守議長や吉賀町赤松寿志副町長らをそれぞれ迎えた通常総会では、令和元年度活動方針として組織強化や農政活動、農業・農村・地域づくりに加え情報・調査・研修の対策を掲げる案が協議され承認されました。

役員改選があり、津和野町農政会議では新たに永田寿秋会長が選任されました。吉賀町農政会議では齋藤一栄会長が再選されました。

講演会は、講師に迎えた日本農業新聞中国四国支所鈴木裕子支所長による、現在の政府が目論む政権運用の動きに農業者やJ A がどう対処すべきかを説いた講演があり、鈴木支所長は「持続可能性」と「多様性」が次代の農業農村に欠かせないキーワードになるとして「安心、安全」に加え、安定生産が持続可能性の鍵となる事。女性や移住者、若者、障害を持った人や外国人など多様な人が自分らしく生きていける柔軟で懐の深い地域づくりを提案しました。





農村歳時記 生き物調査をしました

(有)赤雁の里（渡邊哲朗代表）とJAしまね西
いわみ地区本部（本部長田村清己）は7月28日、
益田市赤雁町の農村公園「赤雁の里」で生き物
調査を行いました。

食農教育イベント「農村歳時記」の第2回目
として開いたもので、市内から参加した児童や保護者、関係者ら約80人が、
公園周辺の川や田んぼで昆虫や魚などの生き物を調べました。

生き物調査は身近に棲む生き物を調べることで田んぼや周辺の環境状態が
掴めるといえます。

当日は、高津川ふしぎ探検隊長の吉中力さんよしなかちから（66）を講師に招き、公園近
くを流れる沖田川で生き物を採取しました。

児童らが採取したアカハライモリやイシドジョウ、カワムツなどの生態や生育
環境などに触れ「珍しい生き物が見つかるこの場所は自然が豊かな証拠だ」と
話しました。

参加者らはスライム作りや青竹を使った竹ごはん作りを体験したほか、昼
食で地元産米を使ったおにぎりやそうめん流しを楽しみました。10月には収
穫祭を予定しています。



匹見ちやぐりんフェスタ開催



JAしまね西いわみ地区本部は7月29日、益田
市匹見町で「ちやぐりんフェスタ」を開きました。
同町匹見上地区振興センターを会場に、町内か
ら参加した児童ら8名が料理や工作を楽しまし
ました。

当日は地元女性部員が講師役となり、児童らと
一緒に「ちやぐりん」掲載レシピの中から夏野菜
を使った「ニンジンごはん」「シヨウガ焼き」「ス
ナップエンドウと麩の煮物」「オクラの吸い物」「ゼ
リー・ジュースグミ」の5品を調理しました。

午後は保護者やJA担当者が講師役となり、児童らと手芸「はし入れ付き
お弁当マット」と紙工作「アイスカップのバタパタカメ」を作って遊びました。
児童の一人は「とても楽しかった。習った料理を家でも作ってみたい」と
喜びました。

「ちやぐりん」は家の光協会発行の子供向け月刊誌で毎月料理や工作の紹
介のほか、農業や食に関する話題を掲載。平成6年から（公社）日本PTA
全国協議会の推薦を受けています。





メモリアルセンター 人形供養式と夕涼み会開催

葬祭事業を手掛けるJAしまね西いわみメモリアルセンター（センター長石田豊樹）は8月24日、益田市遠田町葬祭会館「虹のホールますだ」周辺を会場に今回で4回目となる人形供養式と夕涼み会を開きました。

供養式では、当日までに管内の益田市、津和野町、吉賀町から集められた数千体の日本人形やぬいぐるみを僧侶が丁寧に供養しました。

夕涼み会は今回が3回目。特設ステージで地元高校のブラスバンド演奏やダンス、地元神楽社中による石見神楽が上演されました。

このほか、テント村では旬の野菜や加工品の販売、お米のすくい取りなど、盛りだくさんのイベントで来場者を楽しませました。

同センターでは、組合員や利用者への周知や理



解を得る活動の一つとして今後も同イベントを続けていく考えです。

JA女性部とJA役職員の 意見交換会を開催



JAしまね西いわみ女性部（部長波田洋子）は9月10日、平成29年以來2年ぶりとなるJA役員職員との意見交換会をJA西いわみ地区本部で開き活発な意見を交わしました。

意見交換会は、女性ならではの視点でJA組織を見つめ、課題や要望、意見や情報などを交わす場として設けています。

当日は同女性部波田部長をはじめとする役員やブロック長ら17名とJA地区本部田村清己本部長や部長、支店長ら14名が集い、営農経済部門や金融共済部門、企画総務部門に関する意見や要望、質問などを交わしました。

波田部長は「農協を良くする。地域を良くする。暮らしを良くする想いは一緒。今日を機に一歩でも前進するような会にしたい」とあいさつしました。

交換会終了後は、昼食に米消費拡大運動の一環として「ニコニコおむすび大作戦」を行い島根県産米「つや姫」を使ったおむすびを全員で作って食べました。



親善ゴルフラウンド ゴルフを開催

JA年金友の会中吉田・益田中央支部（支部長田ノ上武夫）は9月26日、益田市美都町のひだまりパークみとで第5回の親善ゴルフラウンドゴルフ大会を開きました。

当日は両支部から合わせて45名が参加してさわやかな汗を流しました。

ゲーム終了後の表彰式ではホールインワン賞など多くの賞が参加者に贈られ会場は盛り上がりました。



西いわみ地区本部の自己改革の取り組み

JAしまね西いわみ地区本部は、安全運転管理者協会に属しており、管内の交通事故未然防止や交通安全励行などに寄与するために益田警察署、津和野警察署と連携した取り組みを行っています。

9月25日には、益田地区安全運転管理者協会の会員234事業所が交通安全パトロール隊を結成しました。日常業務を通じて活動する事業所を横断するパトロール隊の結成で「運転のプロ」として交通事故の未然防止などに繋がっていきます。

当日は益田警察署で出動式があり、各会員に缶バッチと車体に貼るステッカーが手渡されました。

JAでは協会の一員として、模範運転の励行や事故発生時の救護、通報などに取り組みます。

JAではこれからも自己改革実現のため皆様方からいただいたご意見を、できることから確実に実施してまいります。



11月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

西いわみ地区本部金融共済部金融課
年金相談センター (0856-22-8680) は、
平日 (8:45～17:00) いつでも
ご相談いただけます。

11月の年金相談会

14日(木)	高津支店	午後2時～午後6時	波田社会保険労務士
28日(木)	美都支店	午後2時～午後6時	野村社会保険労務士

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

川柳「新米」の投稿数 津和野町11通、吉賀町4通、益田市18通

- お題 「新米」
- 新米の 香り漂う 炊飯器 (益田市) 芝田 淳子さん
 - 頼んだよ 出荷米なの カメ虫さん (益田市) 山本 綾子さん
 - 配給の 新米待った 母と僕 (益田市) 篠原 健二さん
 - 新米は やっぱりこの味 棚田米 (益田市) 喜村 信江さん
 - 新米だ 待つてましたよ すしごはん (益田市) 椋木 節子さん
 - 新米は まず佛壇へ おそなへを (益田市) 岡崎千代子さん
 - 神棚に 新米供え 報告す (益田市) 柳井 文江さん
 - 始めての 新米作り 秋たのし (益田市) 梅津 穂さん
 - 里帰り 新米ほほばり 神楽見る (益田市) 小笠原かよみさん
 - 土作り 我が田の新米 おいしいよ (益田市) 村上登美子さん
 - ジジのコメ 美味し過ぎると 孫が待つ (津和野町) 村上由美子さん
 - やっと来た 新米収穫 腕まくり (津和野町) 大羽ミヤ子さん
 - 新米の 仏飯供へ 味を問う (津和野町) 石川 潔子さん
 - 黄金色 稲刈すんで 新米を (津和野町) 大庭 定さん
 - 楽しみに 待った新米 食べたいな (津和野町) 廣田美代子さん
 - 米離れ 新米は別 うまいから (津和野町) 村上 毅さん
 - 新米を 猪俣が 初物と (吉賀町) 三宅多津子さん

読者の
川柳

にしいわみひろば

12月のお題は「除夜の鐘」です
ご応募お待ちしております



川柳 応募方法

●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和元年11月11日 (当日消印有効)
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課



西いわみ地区本部からのおしらせ



暮らしに役立つ家庭雑誌
『家の光』
12月号・1月号
購読申し込み
受付中



楽しく、かしこく、未来をひらく
ハッピー
マイライフ



定価(税込) ●第1・第2別冊付録付き12月号 1,027円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円 ●普通月号 629円 ※送料別添付のうえにのみ、2020年12月号まで定額改定いたします。

切り取り線

JA 御中 購読申込書 月払い

年 月 日

家の光・地上・ちゃぐりんを12月号・1月号から購読します。

ふりがな _____

お名前 _____ 印

〒□□□-□□□□

ご住所 _____

電話番号 () _____

◎誌名・購読開始月号・支払方法の希望する項目を○で囲み、その他必要事項を記入してください。

支払方法	JA口座より振替
	現金

●ご記入いただいた個人情報は、注文以外の用途には使用いたしません。
●※月号のかわりお申し込みも可能です。

JA・JA女性組織・JA中央会・家の光協会

年末調整説明会及び消費税の軽減税率制度等 説明会開催のお知らせ

令和元年分の年末調整のしかた及び法定調書等の提出方法等について、
下記のとおり説明会を開催いたします。

また、今年も「年末調整説明会」に引き続き、「消費税の軽減税率制度等説明会」を
開催しますので、併せてご出席ください。

開催日	開催時間		開催場所
11月14日(木)	第1回目	午前10時00分～12時30分	島根県芸術文化センター 「グラントワ」小ホール 益田市有明町5-15
	第2回目	午後1時30分～4時00分	

※ いずれかご都合のよい時間帯にご出席ください。 ※ 駐車場につきましては、混雑が予想されますので、できるだけ車でのご来場はご遠慮ください。

税 益田税務署からのお知らせ

税を考える週間

テーマ
「くらしを支える税」



国税庁では、国民の皆様にも租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくために、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、ホームページ等で様々な情報を提供しています。

消費税の軽減税率制度



令和元年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が引き上げられ、軽減税率制度が実施されました。

標準税率：10% 軽減税率：8%

《軽減税率の対象品目は？》

飲食料品 (酒類及び外食を除く)

週2回以上発行される新聞 (定期購読契約に基づくもの)

軽減税率制度に関する情報は国税庁ホームページ

[消費税の軽減税率制度](#) をクリック

税務署での相談は 事前に予約をお願いします

税務署では、書類や事実関係を確認する必要があるなど、電話での回答が困難な場合には、事前に予約をいただいた上で相談をお受けしています。

※ ご予約の際には、お名前・ご住所・ご相談内容等をお伺いいたします。

国税に関する一般的なご相談は
ホームページ(タックスアンサー)
をご利用ください



問い合わせ先／益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)

西いわみ地区本部 年金友の会益田支部 親善グラウンドゴルフ大会開催のお知らせ

開催日 令和元年**11月7日(木)**

開催場所 ひだまりパークみと(美都町)

時間 受付 午前8:30～
開会式 午前9:00～(雨天中止)

大会形式 個人戦とする。

競技方法 「グラウンドゴルフオフィシャルルール」
を準用し、24ホール合計打数を競う。

参加費 **500円**

(昼食代や大会運営費に充当し、当日受付で徴収いたします。)

参加資格 JAしまね西いわみ地区本部で年金のお受取りをされている方

申込み方法 お近くの支店窓口にお申込みください。

参加人数 200名

たくさんのご参加をお待ちしております。



令和1年産米集荷速報

令和1年9月24日現在

営農部米穀課 (単位:30kg/袋)

地区名	出荷予約数量	集荷数量	OE寄受重量 集荷数量内数	集荷数量(合計)	集荷率		1等米比率(全品種)		コシヒカリ1等米比率		ハルニレ1等米比率		ハチエネ1等米比率		お米のすめ1等米比率		つや姫1等米比率	
					1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終	1年度	30年度 最終
益田市	R1	30,746	17,506	0	17,506	56.9%	85.5%	62.2%	48.6%	45.0%	56.1%	95.8%	80.5%	43.8%				
	H30	33,375	18,625	0	18,625	55.8%		49.4%	55.6%	49.1%	45.8%	67.0%	67.0%	19.1%	19.1%	93.9%	85.6%	44.5%
	R1	5,453	2,240	0	2,240	41.1%	86.8%	77.3%	69.1%	72.8%	0.0%	100.0%	100.0%	90.3%	84.7%	94.7%		
	H30	5,329	3,441	0	3,441	64.6%		75.5%	76.8%	56.7%	60.7%	60.3%	60.6%	100.0%	100.0%	0.0%	90.3%	100.0%
匹見	R1	9,680	4,692	0	4,692	48.6%	90.4%	75.6%	89.3%	86.7%	30.2%	81.1%	82.0%	76.5%				
	H30	9,154	3,374	0	3,374	36.9%		80.1%	81.0%	84.7%	84.1%	100.0%	73.4%	100.0%	100.0%	0.0%	90.6%	81.0%
津和野町	R1	25,648	14,623	0	14,623	57.0%	87.0%	77.5%	74.1%	82.9%	0.0%	73.7%	82.5%	89.1%				
	H30	31,187	16,079	0	16,079	51.6%		88.6%	87.1%	87.7%	85.9%	89.1%	88.5%	0.0%	0.0%	87.3%	90.6%	98.8%
日原	R1	3,099	335	0	335	10.8%	103.6%	26.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	21.8%				
	H30	3,093	658	0	658	21.3%		76.3%	68.8%	67.7%	89.1%	97.5%	95.9%	0.0%	0.0%	0.0%	49.7%	100.0%
柿木	R1	5,486	700	0	700	12.8%	74.1%	60.6%	60.6%	0.0%	0.0%	0.0%	69.0%	90.7%				
	H30	4,562	870	0	870	19.1%		77.6%	82.8%	80.2%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	71.5%	
六日市	R1	15,423	3,092	0	3,092	20.0%	77.6%	72.7%	80.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%				
	H30	17,012	3,068	0	3,068	18.0%		74.0%	85.4%	80.8%	80.0%	78.7%	84.9%	0.0%	0.0%	97.3%	100.0%	
J A 計	R1	95,515	43,188	0	43,188	45.2%	85.2%	70.0%	64.5%	75.8%	47.5%	88.5%	82.4%	71.1%				
	H30	103,712	46,115	0	46,115	44.5%		69.8%	74.7%	68.5%	69.2%	82.6%	83.2%	59.7%	59.7%	90.0%	87.8%	68.0%

カントリー未計上

※集荷数量・集荷率・各品種一等米比率の下限は、前年同期実績(H30.9.21)

【農産物検査員コメント】

- ★青未熟・心白粒・カメムシ被害粒が多い
- ★コシヒカリは倒伏や天候不順の為品質が低下している
- ★断続的な降雨の為刈取が遅れている
- ★コシヒカリの反収低
- ★晩生の品種でウカカの発生有
- ★登熟ムラの為、水分にムラのあるものが見られる
- ★等級が落ちる程ではないが、肌ずれが見られる

水稲



9月西部子牛市場成績 (税込み)

(単位:円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市(益田)	雌	35	834,840	395,280	673,056	285
	去勢	43	924,480	439,560	825,195	312
	計	79			755,727	302
益田市(美都)	雌	0				
	去勢	1	812,160		812,160	316
	計	1			812,160	316
益田市(匹見)	雌	0				
	去勢	5	811,080	356,400	704,592	291
	計	5			704,592	291
津和野町(津和野)	雌	1	635,040		635,040	313
	去勢	2	808,920	118,800	463,860	257
	計	3			520,920	276
津和野町(日原)	雌	9	716,040	574,560	646,680	266
	去勢	3	797,040	736,560	772,920	286
	計	12			678,240	271
吉賀町(柿木)	雌	2	693,360	653,400	673,380	275
	去勢	2	794,880	766,800	780,840	304
	計	4			727,110	289
吉賀町(六日市)	雌	0				
	去勢	1	773,280		773,280	317
	計	1			773,280	317
西部市場 総合計	雌	54	834,840	344,520	656,780	280
	去勢	69	924,480	118,800	790,936	304
	計	124			731,474	294

9月の子牛市場

9月17日(火)に雌54頭、去勢69頭、計123頭の上場により、9月の西部家畜市場が開設されました。直近の全国的な相場の上昇傾向と、新規購買者の来場があったことから相場が期待されました。平均価格は雌657千円(前回比106%)、去勢791千円(前回比103%)、計735千円(前回比105%)と、上場牛のバラつきも少なく全体的に上げ相場で良好な相場取引となりました。今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目標して「子牛飼いや方マニユアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。次回の市場開設日は11月19日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故(疾病)等無いよう、また手入れなどを行って愛情をもって飼育されますようお願い致します。

畜産





JAしまね 西いわみ地区本部

農業用廃プラスチックの回収について

回収実施日

令和元年 **11月20日(水)**

回収時間

午前**9:00~11:30**

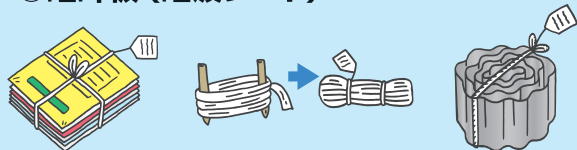
回収指定場所

益田市	J A 営農指導センター
	河成集荷場
	益田市開発研修センター
	J A 美都支店
	J A 匹見支店

津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 山下地域センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木支店
	J A 六日市支店

回収対象物

- 肥料・飼料等のポリ袋
- 農業用ポリエチレンフィルム(農ポリ)
- 農業用塩化ビニルフィルム(農ビ)
- 畦畔板(畦波シート)



処理物の分別方法

(分別にご協力お願い致します)

肥料袋

あぜ波板

農業用フィルム
(農ポリ)

農業用フィルム
(農ビ)

必ず上記のように種類ごとに分別してください。
従来どおり袋を使用してもかまいません。

処理経費(70円/kg程度)については、回収実績(重量)に応じて、後日請求いたします。

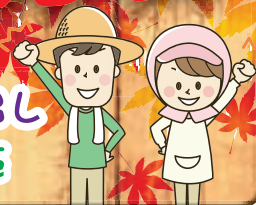
島根県農業協同組合 西いわみ地区本部・石西地域農業用廃プラスチック適正処理推進協議会

益田グリーンセンター展示会

11/15(金)・16(土)

皆様のご来店お待ちしております。

野菜用肥料・農薬、
土壌改良剤等大売り出し
タマネギ苗・花苗販売



需要に応じた米づくり研修会

日時
会場

令和1年11月13日(水) 14:00~ 市民学習センター 多目的ホール
令和1年11月14日(木) 9:30~ JA日原支店 経済課 2F会議室
令和1年11月14日(木) 14:00~ 六日市基幹集落センター 大集会室

内容

- ①西いわみ管内の現状について ②多収化技術について
- ③生産者による取り組み報告 ④その他





西いわみ地区本部からのお知らせ



JAしまね



メガネの三城

メガネ・補聴器 巡回サービス

～ 無料で出来ること、お役に立てることがたくさんあります。～

こんにちは、『メガネの三城』移動型店舗店長の狩野と申します。
『タナカ』さんに代わり、みなさまの町のJA各支店へお伺いさせていただいております。
メガネ、補聴器の調整、ご相談などがございましたらお気軽にお立ち寄りくださいませ。
JA様でお求めの方はもちろん、他店でご購入の方も大歓迎です。

フレーム+
¥12,000~
(税別)

『訪問ご希望のお客様へ』
ご来店が難しいお客様はご自宅まで訪問させていただきます。
ご希望の方は最寄りのJA窓口へお問い合わせください。
※訪問可能時刻は各支店の巡回営業時間以降となります。

お問い合わせはこちらの携帯電話もどうぞ
090-6955-1612
メガネの三城【移動型店舗 クーリエ号】
店長 狩野 昭弘

日	月	火	水	木	金	土
11月の巡回日程		大安	赤口	先勝	1 友引 西益田支店 9時～13時	2 先負
3 仏滅 文化の日	4 大安 振替休日	5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅
10 大安	11 赤口 ラーバン 9時～14時	12 先負 日原経済C 9時～14時	13 友引 匹見支店 9時～14時	14 先負 六日市経済 9時～13時	15 仏滅 益田 グリーンセンター 9時～17時	16 大安 益田 グリーンセンター 9時～16時
17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅	22 大安	23 赤口 勤労感謝の日
24 先勝	25 友引 西益田支店 9時～13時	26 先負 日原経済C 9時～14時	27 大安 匹見支店 9時～14時	28 赤口 津和野経済 9時～13時	29 先勝 柿木経済 9時～13時	30 友引

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ 駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



取扱業者

株式会社 **コダマサイエンス**

(公社) 日本しろあり対策協会正会員
会員番号 島根県 002
会員番号 鳥取県 002

(本社) 〒690-0048 島根県松江市西塚島 2丁目 8-23

JA全農基本契約業者「株児玉商會」特約施工店

■益田営業所 TEL0856-22-5390

■各営業所/松江・江津・隠岐・鳥取・倉吉・米子・広島
<http://www.kodama-s.co.jp/>

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。

お問い合わせ先 益田市中吉田町 1001-1 JAしまね 西いわみ地区本部 経済課 TEL:23-0914



中川 徳行



三浦 定



地元産の野菜で試食つきクッキングステージを開催!

2019
10.26
sat.

みんなのきょうの料理
JAバンク × 健康キッチン
JA直売所キャラバン

JA直売所の旬の食材を使って
健康づくりのポイントをプラスした
「健康レシピ」をご紹介します。

ステージ
参加者に
プレゼント
つき!!

【お子様の参加も大歓迎です。】

日時 **10月26日(土)** 1回目 10:00~10:45 各回参加無料
2回目 13:00~13:45

会場 道の駅 あらエッサ JAしまね なかうみ菜彩館

定員 各回70名様 ※事前予約受付中 (各回先着35名様分・プレゼント付!)



事前予約申込先

ホームページ/TEL

健康キッチンキャラバン

検索

TEL 03-5790-0820



家族そろって「ミニトマトすくい」「綿あめづくり」にチャレンジしよう!! (参加無料)

NHK Eテレ「きょうの料理」で
活躍する講師による
クッキングステージ
& 試食



藤井 恵さん
管理栄養士・料理研究家



トマトのそぼろ煮
ご試食付

※当日はほうれんそうを使った「ほうれんそうのナムル」も
ご紹介します。(実演のみ)

《お問合せ先》「健康キッチンJA直売所キャラバン」
運営事務局
03-5790-0820
(平日 10:00~18:00)



<https://www.kyounoryouri.jp/contents/caravan>

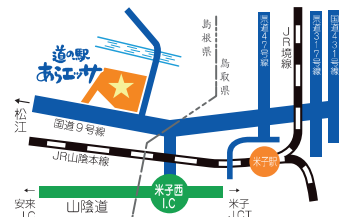
ステージ参加者3大特典

- ① ミディトマトと
ほうれんそうを
全員にプレゼント!!
- ② 試食付き
- ③ 金芽米 きぬむすめ (2kg)
が当たる 抽選券付!
(各回20名様)

※天候や育成状況により、プレゼントの農産物が変わる場合があります。



なかうみ菜彩館
安来市中海町118-1



●アクセス 【山陰道・米子西ICから国道9号安来市方面へ約5分】

主催 JAしまね/JAバンク/NHKプロモーション

制作 NHKエデュケーショナル

協力 NHKプラネット中国



JALしあね総合ポイントカード 「おさいふカードポイント」 有効期限のお知らせ

「おさいふカード」のポイントには
有効期限がございます。

平成29年に獲得されたポイントの
有効期限は

令和元年12月31日

となっております。

有効期限が切れるポイントは、

店頭端末、支店窓口等にて

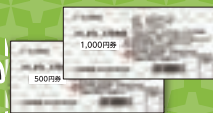
ご確認いただけますのでお早めにご利用ください。
ポイントをご確認いただき、お早めにご利用をお願いいたします。



おさいふカードのポイントのご利用方法

★お買物券と交換

・JA店舗・Aコープでご利用ください



★お買い物代金として1ポイント1円で

・ラピタ
・グリーンセンター などにご利用いただけます



★カタログ商品と交換

・2019秋冬号はJA各支店に
ご用意しております



対象となるポイントをご確認いただき、
お早めにご利用をお願いいたします。



総合ポイント
全般のお問合せ

0120-031-207

おさいふオーナー

「定期性貯金期日のご案内」 発送終了のお知らせ

平素はJAしあねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

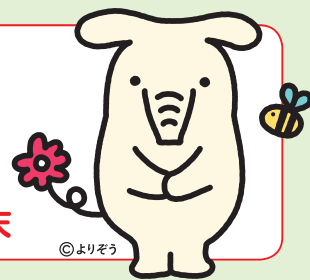
さて、このたび当JAでは、定期性貯金のお取引をいただいているお客さまに発送しております下記のご案内状につきまして、誠に勝手ながら、2019年10月31日作成分をもちまして、発送を終了させていただきます。

ご案内状でお知らせしている満期日などにつきましては、お手元の通帳、証書などをご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

今後もお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【発送を終了するご案内状 〈定期性貯金期日のご案内〉】

- 対象商品** 定期貯金、積立式定期貯金、譲渡性貯金
- 内 容** 満期日、中間利払日などのご契約内容
- 作成時期** 原則として満期日、中間利払日の2か月前の月末



©よりぞう

※発送を継続する先

- 法人・団体のお客さま
- 課税区分がマル優の口座をお持ちのお客さま

しまねうれしび

料理研究家 土井小百合

JALしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物性インクを使用しております。



バターナッツスープ



●材料（4人分）

バターナッツ	450g	塩	小さじ1/2
水	250ml	コショウ	
牛乳	150ml	普通はコンソメ	
生クリーム(あれば)	大さじ6	(今回は皮、タネ)	適量

●作り方

- ①バターナッツの皮をピーラーでむき、タネとワタを取る。
- ②①を3cm角に切りラップをふわっと掛け、レンジで4分加熱する。硬ければ追加加熱をする。
- ③皮、タネ、水を鍋に入れ煮込んだあと、皮とタネを捨てて煮汁だけにする。
- ④ミキサーに柔らかくなったバターナッツ、③の煮汁を入れ攪拌する。
- ⑤鍋に④と牛乳、塩、コショウを入れ味をととのえる。器に入れ生クリームをかける。



★甘味が強いわねのようなクリーミーでねっとりとした食感と、なめらかな舌触りが特徴のバターナッツがほちゃ。生でも食べることができますが、火を通すと、栗のような濃厚な味わいになります。コンソメは使わず味付けは塩だけ。素材のおいしさを引き出したレシピです。

さんまの赤ワイン煮



●材料（4人分）

さんま(生)	3尾	水	250cc
玉ねぎ	1玉	ローリエ	1枚
にんにく	1かけ	しょうゆ	大さじ2
パプリカ(あれば)	1/2個	砂糖	大さじ1
赤ワイン	100cc		

●作り方

- ①さんまは頭と内臓を除き4等分に切り洗う。
- ②玉ねぎは1cmぐらいの輪切りに切る。パプリカは乱切りにする。にんにくはつぶす。
- ③鍋に水、赤ワイン、しょうゆ、砂糖、ローリエ、にんにくを入れ沸騰したら、さんまを鍋に平らに並べて入れ、上に玉ねぎ、パプリカを乗せ中火から弱火で15分煮る。(赤ワインは辛口を使用、甘口の場合は砂糖を控える)



★お醤油を入れているので、ご飯に合う一品になります。玉ねぎの甘味がさんまの旨味を引き出して、脂のついたさんまをさっぱりと食べられます。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐郡西ノ島町の「シャラ船(精霊船)送り」です。お盆最終日の8月16日、西ノ島町では、お盆を迎えた先祖の霊に乗せて西方浄土へ送る行事「シャラ船送り」が行われます。杉と竹、麦わら等で作られ、帆のかわりに色とりどりの盆旗で飾り付けられたシャラ船は、ご詠歌の調べが流れる中たくさんの人々に見守られ湾上へ送り出されます。

編集後記

数年ぶりに訪れた島前。別府港など島の随所が古い記憶とは違うが、海的美しさと島に流れるゆったりとした時間は記憶どおり。知夫村では、内航船乗り場からJA支店へと歩いていると、軽トラに乗った男性から「乗っていくか?」の一言。感謝しつつ天気が良いので歩きますと伝えました。仕事で来たのに心をリフレッシュして帰る贅沢なひと時。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。



JALしまね 公式ホームページ
<https://ja-shimane.jp/>

2019年10月16日付発行(月1回発行)
 編集/JALしまね ふれあい福祉課・西いわみ地区本部
 発行/島根県農業協同組合 西いわみ地区本部
 〒698-0024 益田市駅前町15-1 TEL.0856-22-1589 FAX.0856-23-0788